

# 市民意識調査結果について

## 1. 市民意識調査の概要

### ■調査期間

令和5年10月25日～11月14日

### ■調査対象

- ・18歳以上の市民
  - ・市内中学校（菊川市立菊川東・菊川西・岳洋中学校、牧之原市菊川市学校組合立牧之原中学校、常葉大学附属菊川中学校）に通う中学生
- ※牧之原市菊川市学校組合立牧之原中学校は市内在住学生のみ
- ・市内高校（静岡県立小笠高等学校、常葉大学附属菊川高等学校）に通う高校生
  - ・市内在住の企業

### ■調査方法

- ・郵送
- ・インターネット

※中学生・高校生はインターネットのみ

### ■回答率

|       | 配付数           | 回答数           | 回答率           |
|-------|---------------|---------------|---------------|
| 市民    | 2,000 (2,000) | 1,027 (1,023) | 51.4% (51.2%) |
| 中学生   | 488 (485)     | 393 (459)     | 80.5% (94.6%) |
| 高校生   | 451 (472)     | 353 (447)     | 78.3% (94.7%) |
| 企業    | 200 (96)      | 84 (58)       | 42.0% (60.4%) |
| TOTAL | 3,139 (3,053) | 1,857 (1,987) | 59.2% (65.1%) |

※括弧内の数値は、第2次菊川市総合計画策定時に実施した調査結果（平成26年11月～12月実施）

### ■調査内容

#### 【市民・中学生・高校生】

- ・菊川市の住みやすさ
- ・Well-Being
- ・菊川市の将来像
- ・市の個別課題（人口減少・土地利用・産業振興）
- ・市政情報の認知度
- ・協働のまちづくり

#### 【企業】

- ・菊川市に対する印象
- ・市政に対する評価
- ・経営・就業環境
- ・まちづくりへの関わり

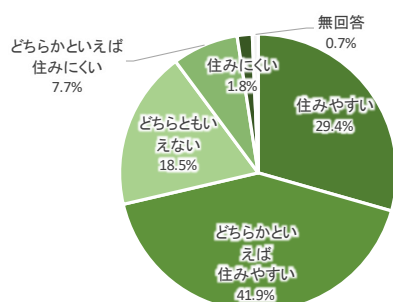
## 2. 市民意識調査の結果

詳細につきましては参考資料2市民意識調査結果をご確認ください。

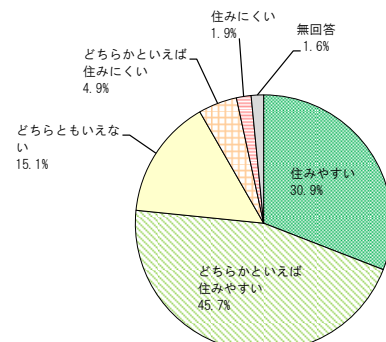
### ■菊川市の住みやすさ（問9）

【市民】

- ・「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた人が76.6%と、前回に比べ、5.3%増加しています。

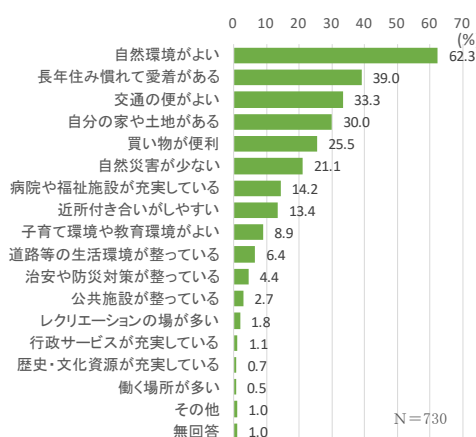


前回（平成26年）

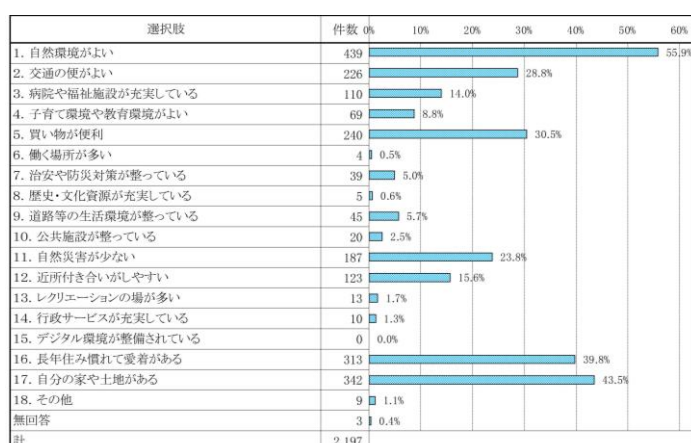


今回（令和5年）

- ・住みやすい理由で最も意見が多かったのは「自然環境がよい」（55.9%）となっており、前回と同様の結果となっています。前回から大幅に増加している意見としては「買い物に便利」「自分の家や土地がある」となっています。

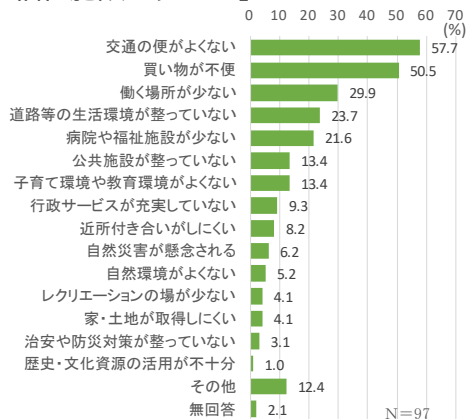


前回（平成26年）

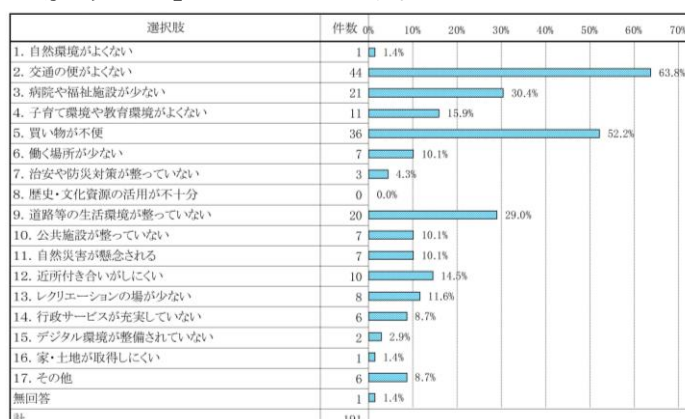


今回（令和5年）

- ・住みにくい理由で最も意見が多かったのは「交通の便がよくない」（63.8%）となっており、前回と同様の結果となっています。前回から大幅に増加している意見としては「交通の便がよくない」「病院や福祉施設が少ない」「レクリエーションの場が少ない」となっています。



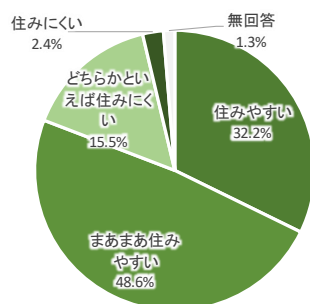
前回（平成26年）



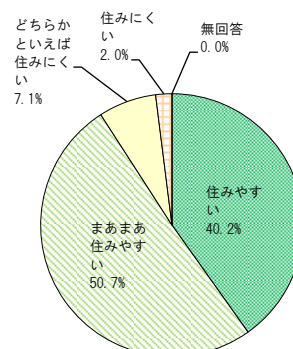
今回（令和5年）

## 【中学生（市内出身のみ）】

- ・「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた人が 90.9%と、前回に比べ、10.1%増加しています。

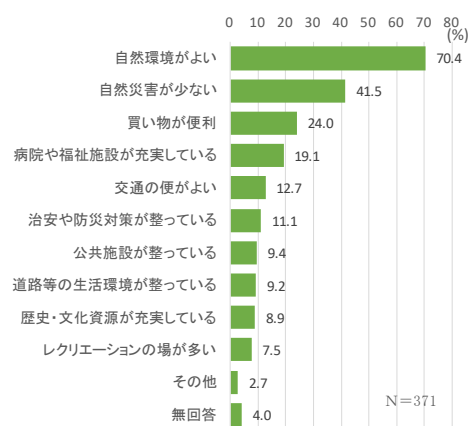


前回（平成 26 年）

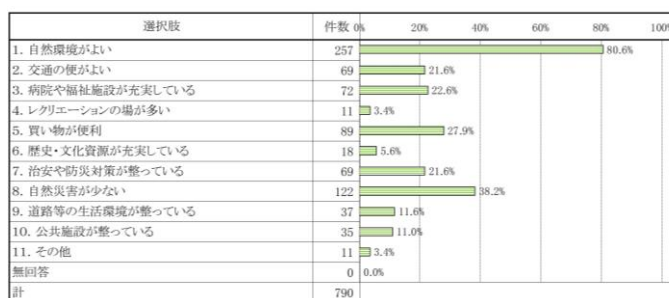


今回（令和 5 年）

- ・住みやすい理由で最も意見が多かったのは「自然環境がよい」（80.6%）となっており、前回と同様の結果となっています。前回から大幅に増加している意見としては「自然環境がよい」「交通の便がよい」「治安や防災対策が整っている」となっています。

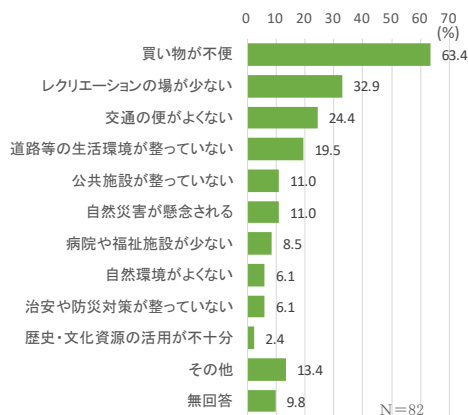


前回（平成 26 年）

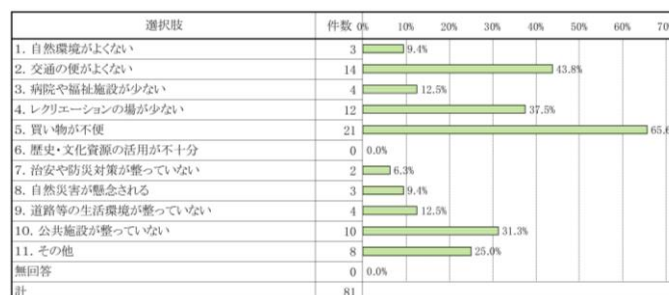


今回（令和 5 年）

- ・住みにくい理由で最も意見が多かったのは「買い物が不便」（65.6%）となっており、前回と同様の結果となっています。前回から大幅に増加している意見としては「交通の便がよい」「レクリエーションの場が少ない」「公共施設が整っていない」となっています。



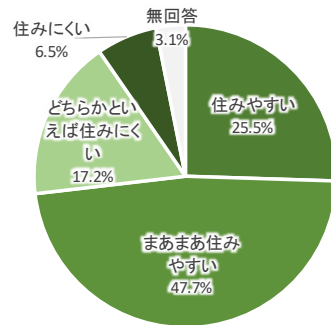
前回（平成 26 年）



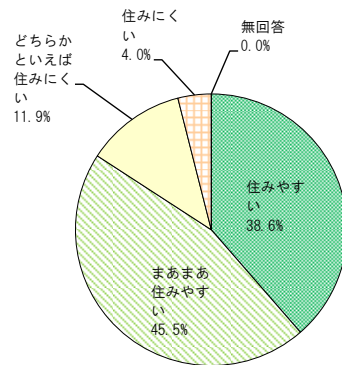
今回（令和 5 年）

【高校生（市内出身のみ）】

- ・「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた人が 84.1%と、前回に比べ、10.9%増加しています。

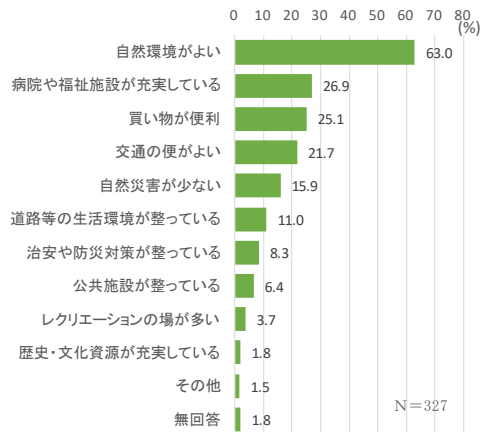


前回（平成 26 年）

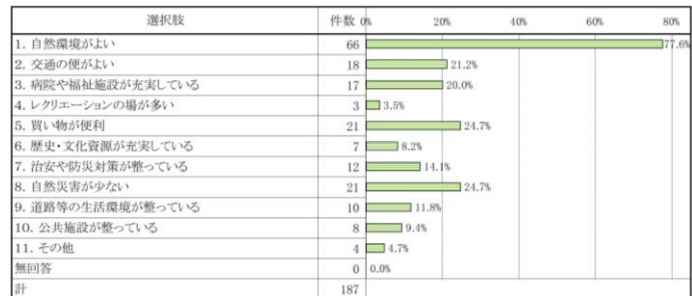


今回（令和 5 年）

- ・住みやすい理由で最も意見が多かったのは「自然環境がよい」（77.6%）となっており、前回と同様の結果となっています。前回から大幅に増加している意見としては「自然環境がよい」「自然災害が少ない」「歴史・文化資源が充実している」となっています。

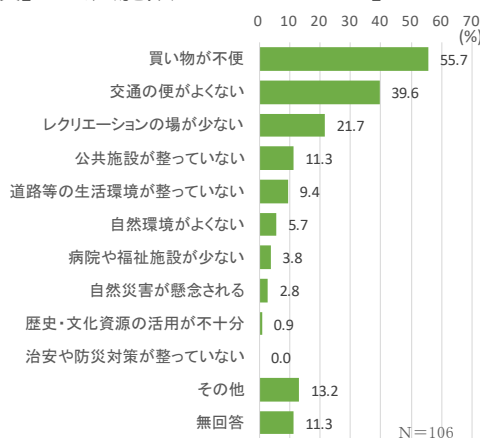


前回（平成 26 年）

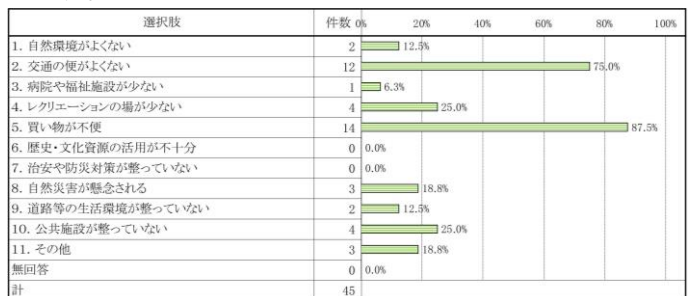


今回（令和 5 年）

- ・住みにくい理由で最も意見が多かったのは「買い物が不便」（87.5%）となっており、前回と同様の結果となっています。前回から大幅に増加している意見としては「交通の便がよい」「買い物が不便」「公共施設が整っていない」となっています。



前回（平成 26 年）

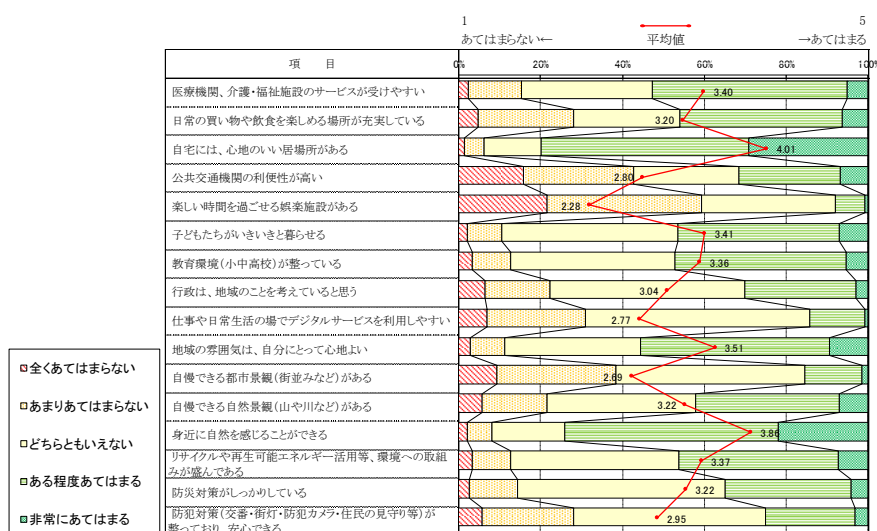


今回（令和 5 年）

## ■菊川市の生活環境（問 12）

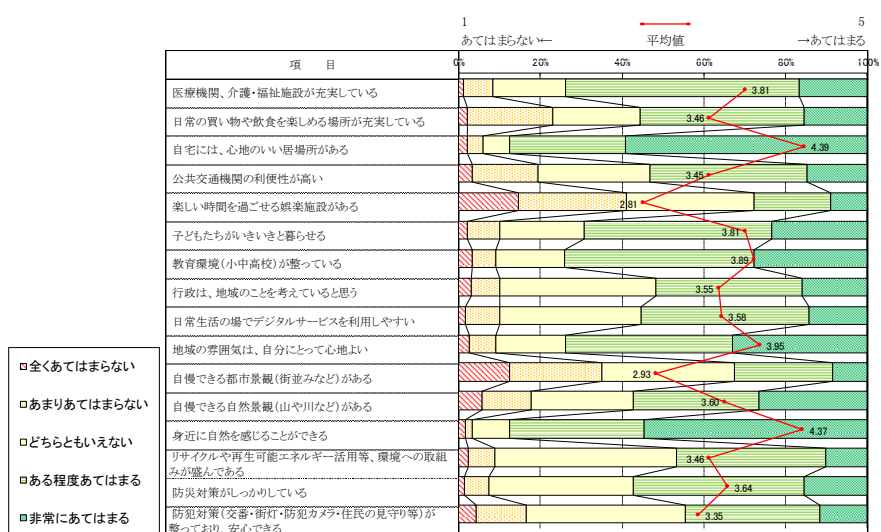
### 【市民】

- ・「自宅には、心地のいい居場所がある」(4.01)「身近に自然を感じることができる」(3.86)「地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」(3.51) の平均値が高くなっています。
- ・平均値が低い項目は「楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」(2.28)「自慢できる都市景観(街並みなど)がある」(2.69)「仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい」(2.77) となっています。



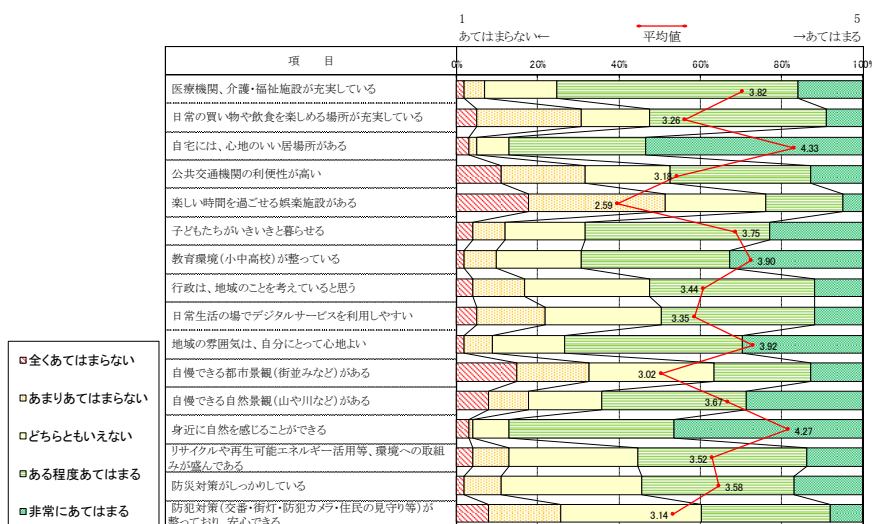
### 【中学生（市内出身のみ）】

- ・「自宅には、心地のいい居場所がある」(4.39)「身近に自然を感じることができる」(4.37)「地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」(3.95) の平均値が高くなっています。
- ・平均値が低い項目は「楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」(2.81)「自慢できる都市景観(街並みなど)がある」(2.93)「防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、安心できる」(3.35) となっています。



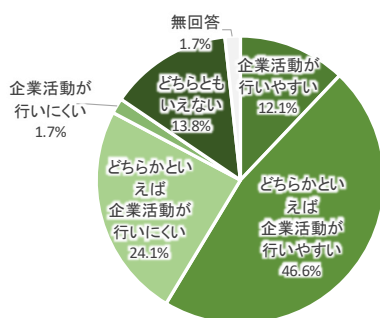
【高校生（市内出身のみ）】

- ・「自宅には、心地のいい居場所がある」(4.33)「身近に自然を感じることができる」(4.27)「地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」(3.92)の平均値が高くなっています。
- ・平均値が低い項目は「楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」(2.59)「自慢できる都市景観(街並みなど)がある」(3.02)「防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、安心できる」(3.14)となっています。

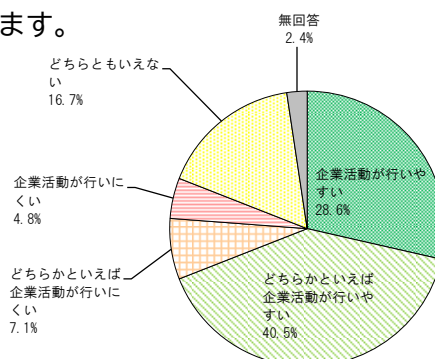


## ■企業の菊川市への印象（問 6）

- ・「企業活動が行いやすい」・「どちらかといえば企業活動が行いやすい」と答えた企業が 69.1%と、前回（平成 26 年）に比べ、10.4%増加しています。

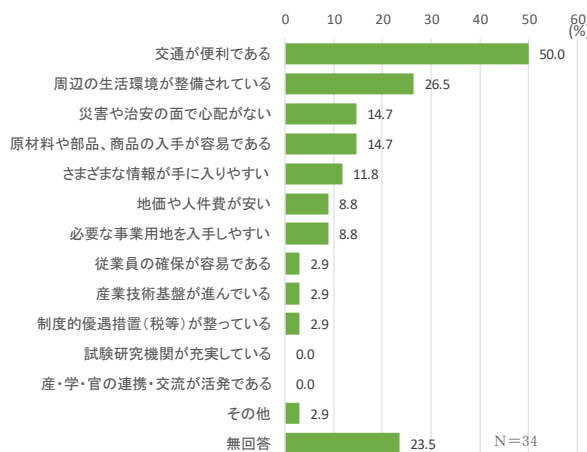


前回（平成 26 年）

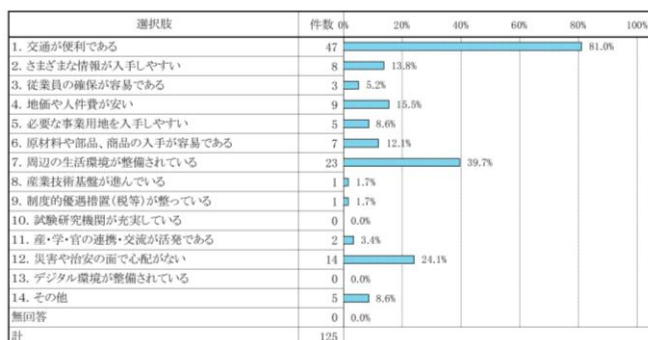


今回（令和 5 年）

- ・企業活動が行いやすい理由で最も意見が多かったのは「交通が便利である」（81.0%）となっており、前回と同様の結果となっています。前回から大幅に増加している意見としては「交通が便利である」「周辺の生活環境が整備されている」「災害や治安の面で心配がない」となっています。

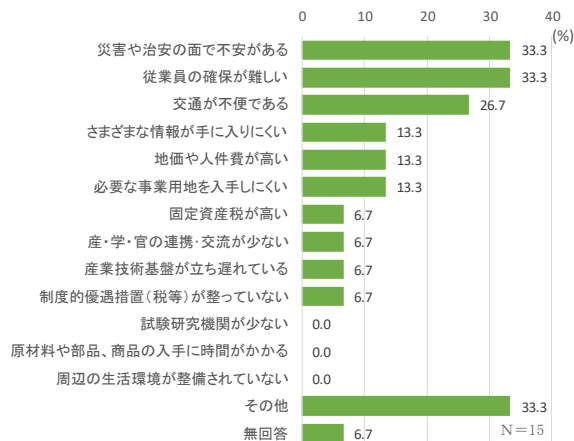


前回（平成 26 年）

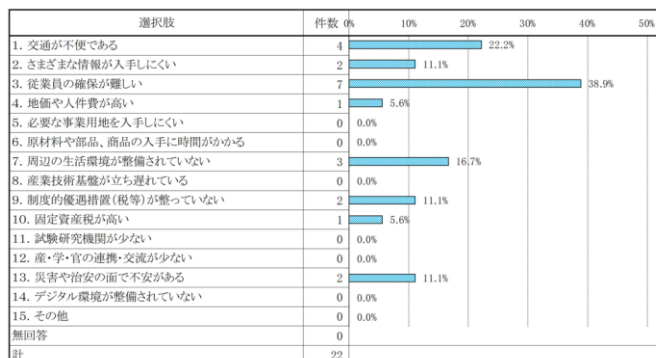


今回（令和 5 年）

- ・企業活動が行いにくい理由で最も意見が多かったのは「従業員の確保が難しい」（38.9%）となっており、前回と同様の結果となっています。前回から大幅に増加している意見としては「従業員の確保が難しい」「周辺の生活環境が整備されていない」となっています。



前回（平成 26 年）



今回（令和 5 年）